



ROTARY INTERNATIONAL

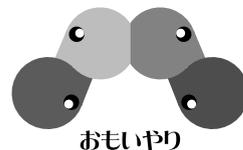
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

OFFICE OF GOVERNOR OF DISTRICT NO.2650



CHOHEI HASHIMOTO

ABS BUILDING
ANEKOJI KAWARAMACHI HIGASHI NAKAGYOKU
KYOTO, JAPAN



No. 5 November 1. 2007

ガバナー月信 第5信 (平成19年11月1日)

第2650地区 ロータリークラブ

国際ロータリー 第2650地区ガバナー

会長・幹事・みなさまへ

橋本長平

●財団月間に際して、そして、お願い●

R.I. 会長の言葉とアーチ・クラフの提言

「私たちの責務は、世界にはびこる全ての問題を解決することではありません。私たちは貧困を解消することもすべての病気を根絶することも出来ません。私たちの力の及ばない苦悩が完全に姿を消すことは無いでしょう。しかし、私たちが解決できる苦悩もまた同時に存在するのです。世界に違いをもたらすことは可能です。それが私たちの選ぶ道であります。ロータリアンである私たちは、人を助けることを選びます。ロータリアンは分かち合いによって、人を助けるのであります。」

これは、ウィルキンソン R.I. 会長が、今年度国際協議会の閉会の辞で述べられた言葉であります。ウィルキンソン R.I. 会長のこの気持ちと同じレベルでロータリー財団の父と親しみを込めて呼ばれるアーチ・クラフが「ロータリーが基金をつくり、全世界的な規模で慈善、教育、その他社会奉仕の分野で善行をしようではありませんか。」と1916年のアトランタ国際大会で提言したのに相違ありません。アーチ・クラフは6代目の R.I. 会長であり、26ドル50セントの基金をもとに、ロータリー運動の将来的な継承を目指して、こう訴えたのであります。ロータリー財団の萌芽はこうして誕生し、多くのロータリアンの善意に支えられて徐々に発展の道を辿った訳であります。その道は決して平坦なものではありませんでしたし、基金もそれ程多額なものになるということはありませんでした。

財団の爆発的充実

ロータリーの創始者ポール・ハリスは、1947年1月27日に亡くなりました。彼は生前ロータリーを創設し、その精神を拡大し、各地にロータリークラブを創立し、そしてそれらをまとめあげて、ロータリーインターナ

ショナルという一大組織にまで纏めあげるといふ大きな業績を残したことは今更ここで述べるまでもありません。彼が、亡くなったときには、ロータリーは30万人以上の会員を擁する一大組織となっており、その30万人以上の会員が、彼の偉業を改めて見直し、その死を悼んだのであります。彼が生前に育んだ友情の輪は、死後も崩れ去るということはなく、全世界から彼の偉業を讃えて多くの寄付が国際ロータリーに寄せられることとなったのであります。ここに実質的なロータリー財団の礎が築かれ130万ドル以上の資金が寄せられることとなったのであります。

これが後に今日のロータリー財団の基礎となったポール・ハリス記念基金であります。1947年には、最初のプログラムが実施され、ロータリーが生み出した初のロータリー国際親善奨学生誕生を見たのであります。早くも1957年には、ポールハリスフェローの認証制度を採用し、3Hプログラムなどにも取り組み始めたのであります。

財団の法人化

ロータリー財団は、その後も順調な発展を遂げ、1983年には、イリノイ州シカゴにて財団法人化されるに至ります。名称は、国際ロータリーのロータリー財団というのが正式であります。ロータリー財団の前に「国際ロータリーの」という名称が付いていることにご留意願いたいと思います。名称などは別に気にすることは無いとおっしゃる方もいらっしゃると思いますが、これには、非常に深い意味があります。国際ロータリーの構成員は、各ロータリークラブであります。しかしながらロータリー財団の構成員は、各ロータリークラブではありません。ロータリー財団の構成員は、